



令和4年(2022年)8月24日(水)やまぐちフレッシュパーク体育館にて、JFA小学校体育サポート研修会が「山口市小学校教育研究会体育部研修会」として実施されました。

指導者は、公益財団法人 日本サッカー協会JFAコーチの岡本 理生 先生でした。岡本先生は、学校の教員でとても分かりやすく、子ども目線で授業づくりについて御指導いただきました。

当日は、残暑厳しい暑い日でしたが、冷房のある体育館で気持ちよく研修会を実施することができました。この研修会には市内各小学校から35名の先生方が参加されました。講義や実技を通して子どもたちにサッカーの面白さが伝わり、授業に生かすことができる研修会になりました。

まず、参加者各自が新聞紙を丸めて手作りのボールをつくりました。次に、ウォーミングアップとしてボールを使わずに簡単な動きづくりや動きづくりを通した人間関係づくりなどを行いました。その次に、手づくりボールやソフトサッカーボールを使って、簡単な動きからゲームへと発展するような内容の実技を行いました。最後には、ルールや場を工夫した3人対3人のミニゲームを行いました。

本研修会では、安心感のある環境づくりや誰もが楽しめるような基本的な動きづくり、人間関係づくり、学習指導要領に沿ったボール遊びやゲーム、ボール運動の内容が盛り込まれていました。

参加された先生方からは、低学年や中学年のボール遊びやゲームの学習に取り入れられるいろいろな教材を知ることができてとてもよかった。集団対集団で勝敗を競い合うサッカーの基本的な内容が分かり、授業づくりに大変役立ったなど、多くの好意的な感想もいただいた。

本事業は、来年度以降も引き続き、実施されます。ぜひ、多くの先生方に参加していただき、多くの子どもたちにボールゲームの楽しさを味わえるようにしてほしいと願っている。

(次頁に研修の具体的な様子を紹介する。)



研修会の具体的な様子



手づくりボールの様子

新聞紙1日分を、キャベツのように、1枚ずつ重ねながら丸めていく。あまり堅くならないように注意する。丸めたら、レジ袋にて、入れ取っ手のところをしばり、取っ手のところが十字になるようにガムテープで留める。



運

ウォーミングアップ (アイスブレイク)

ウォーミングアップは、ボールを使わずに、ゲームをするメンバーのアイスブレイクを兼ねて行った。「じゃんけん」や「手押し相撲」、「だるまさんが転んだ」など、体をほぐす運動や人間関係を培うような運動を取り入れ、緊張感をほぐすような内容が多く含まれていた。



ボールを使った運動遊び

ここでは、最初に作った新聞紙のボールやソフトサッカーボールなどを使って、様々なドリブルや集団でのドリブル、ボールをキャッチする動きづくりなど、ボール(サッカー)ゲームの基本となる動きづくりやスペースの見つけ方などが楽しく。身に付くような内容になっていた。



ゴール型ゲームの紹介

ここでは、ゴール型の様々なミニゲームを実践した。簡易的な場やルールを工夫することで、技能差や個人差がある程度改善されることや全員がボールに関与できることが保障されることがわかるような内容であった。

ボール運動が苦手な子どもたちにも楽しめるゲームが紹介され、授業に生かしていくことができる内容になっていた。